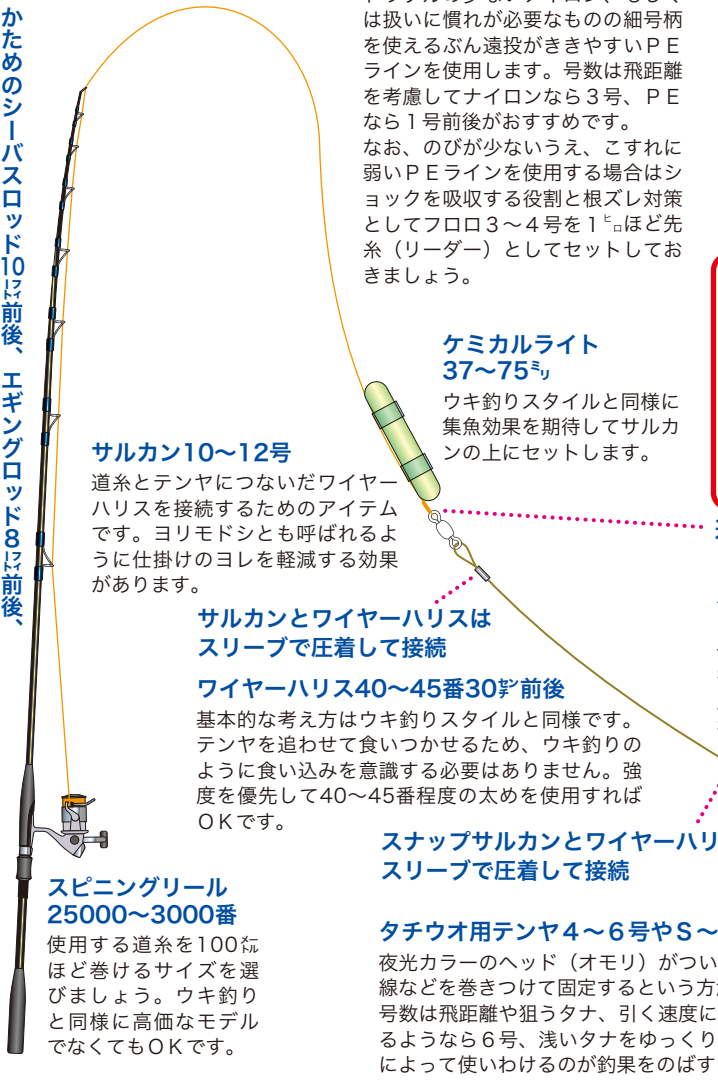


かためのシーバスロッド10号前後、エギングロッド12号前後、10〜15号程度のやわらかめの投げ竿3号前後、遠投機竿3〜4号5号クラス  
使用するテンヤを無理なくキャストできる適合ウエートの竿を選びましょう。ウキ釣りに比べて手返しが多い釣りだけに、取り回しがよくて扱いやすい3号前後の長さがベターです。手返しがやや落ちるものの、ウキ釣りに用いる遠投機竿3〜4号を流用しても問題ありません。



## 道糸：ナイロン3号、PE1号前後

トラブルの少ないナイロン、もしくは扱いに慣れが必要なものの細号柄を使えば遠投がききやすいPEラインを使用します。号数は飛距離を考慮してナイロンなら3号、PEなら1号前後がおすすめです。なお、のびが少ないうえ、こすれに弱いPEラインを使用する場合はショックを吸収する役割と根ズレ対策としてフロロ3〜4号を1号ほど先糸（リーダー）としてセットしておきましょう。

## ケミカルライト 37〜75mm

ウキ釣りスタイルと同様に集魚効果を期待してサルカンの上にセットします。

## サルカン10〜12号

道糸とテンヤにつないだワイヤーハリスを接続するためのアイテムです。ヨリモドシとも呼ばれるように仕掛けのヨレを軽減する効果があります。

## サルカンとワイヤーハリスはスリーブで圧着して接続

## ワイヤーハリス40〜45番30号前後

基本的な考え方はウキ釣りスタイルと同様です。テンヤを追わせて食いつかせるため、ウキ釣りのように食い込みを意識する必要はありません。強度を優先して40〜45番程度のためを使用すればOKです。

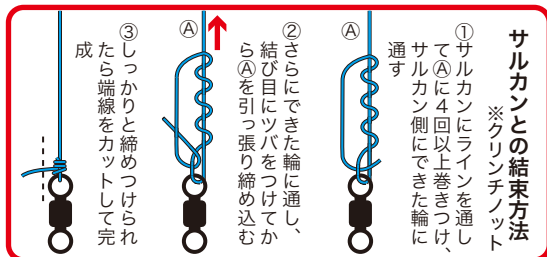
## スナップサルカンとワイヤーハリスはスリーブで圧着して接続

## タチウオ用テンヤ4〜6号やS〜Lサイズ

夜光カラーのヘッド（オモリ）がついたハリです。ヘッドの後部にある突起に頭を刺したのちに鋼線などを巻きつけて固定するという方法にて餌をセットします。号数は飛距離や狙うタナ、引く速度に応じて使いわけます。たとえば、遠くの深ダナでアタリができるようなら6号、浅いタナをゆっくりと引きたいときは4号という具合です。そのときどきの状況によって使いわけるのが釣果をのばすコツとなるため、各号数を用意しておきたいものです。

## ②引き釣りスタイル

ドジョウやキビナゴなどの餌をセットしたテンヤ仕掛け（オモリとハリが一体になった仕掛け）をキャストし、リールを巻いて引き寄せながら誘う釣り方です。遠投性に優れるうえ、タナを自在に調整できることから広範囲を探れます。また、手返しよく探れるだけに、数が期待できるまづめどきなどには特に有効な釣り方だといえます



## 道糸とサルカンはクリンチノットで結束

## スナップサルカン10〜12号

ワイヤーを巻きつける必要があるなど餌つけに時間がかかるテンヤ釣りの場合、あらかじめ餌をセットしたテンヤ仕掛けをいくつか用意しておくことで手返しアップがはかれます。スナップサルカンを用いれば、その際のテンヤ仕掛けの交換をスムーズに行なえます。

